

2016年第62回日本母親大会in石川・福井 子どもたちに「核兵器のない平和で明るい未来」を

第62回日本母親大会が8月20・21日、金沢市と福井市で開かれ、のべ9300人が参加しました。安倍政権の改憲と暴走に女性や市民が立ち上がるなか、運動と共同をさらに強めようと新しい工夫も。初日はテーマを絞った7つの問題別集会在開かれ、2日目の全大会は主催者あいさつの後、緊迫する沖縄のたたかいについて琉球新報社の島洋子さんが講演。祭り太鼓や獅子舞など民衆が受け継いできた加賀百万石ならではの文化、また日本で初の米軍ノーのろしとなった内灘闘争など石川のたたかいの歴史も紹介されました。「子どもたちに『核兵器のない平和で明るい未来』を手渡すために、憲法改悪反対、9条守る運動の先頭に立とう」との大会アピールを拍手で採択し、閉会しました。

さざなみネットから3名が参加しました。福井市フェニックス・プラザ大ホールで開かれた「エネルギーと原発」の問題別集会の感想を寄せていただきました。

「エネルギーと原発」の分科会に参加しました。原発が集中する福井県で開かれたことに大きな意義があり「なくそう

原発 再生可能エネルギーへの転換を」をテーマに約1000人が集い、4人のパネリストから報告を受けました。地元からは運動の困



47都道府県・諸団体の代表がプラカードを持って
全体会・フィナーレ 金沢市 21日

難さを聞きましたが、住民も本心で動けない苦痛を抱えており、大変なことがよくわかりました。3・11から毎週の地道な行動で少しずつ変化が起きている様子に励まされました。各地から原発に反対する運動の交流がありましたが、大津地裁の原発差止め勝訴で、高浜3、4号機を停止させたことは大きな勇気を与えました。全国で継続して取り組まれているキンカン行動の重要性も再認識できました。(清水)

忌野清志郎さんを知っていますか。もう随分前に福井県の海水浴は危険と、反原発ロック「サマータイム・ブルース」で告発していたことを最近知りました。チェルノブイリの事故も原発が福井に多いことも前から知っていたのに。

今回福井会場の「エネルギーと原発」でのコーディネーター山本富士夫さん(福井大学名誉教授)は「脱原発と再生可能エネルギーへの政策転換を実現し、命を守るには、政府(安倍首相)に憲法を遵守させることが大事です」と強調されました。直接関わりなくともしっかり見て、聞いて、想像して、行動する……。これからの人に、生活と政治が繋がっていることを、一人でも多くの人に伝えていかなければ思った大会でした。(植木)

感想



合唱構成「海の軌跡」 海の軌跡合唱団
「エネルギーと原発」問題別集會 福井市20日

第1回控訴審が7月11日に行われましたが、裁判所は原告側からの新たな証拠を受け「微妙な問題がある」としながらも結論となり、判決が9月14日に決まりました。

裁判後の報告集会において、裁判勝利と解雇撤回をめざす「支援する会」が結成されました。

さざなみネットは、8月の分会会議で論議し「支援する会」に加入するとともに、高裁への個人・団体署名に取り組みむことを決めました。

原告は即日、名古屋高裁・金沢支部へ控訴し、「『北陸政界』誌への情報提要在原告2名ではなかったこと」、「警察が公益通報を受けたこと」を示す新たな証拠を提出しました。

公益通報目的で役員のメールにアクセスした組合役員2名が懲戒解雇され、解雇無効を求め福井地裁に提訴し争われてきましたが、3月30日、福井地裁は会社側の主張だけ認め、原告の請求をすべて棄却するという不当判決を出しました。

武生信金の仲間の解雇撤回を支援する会

金融労連から「武生信金の仲間の解雇撤回を支援する会」加入のお願い及び高裁への個人・団体署名取り組みの緊急要請」が来ました。